

トータルケアNEWS

4 9 2 0 1 3 . 1 . 3 1

発行 社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
〒010-0922 秋田市旭北栄町 1-5
TEL 018-864-2711 FAX 018-864-2701
URL <http://www.akitakenshakyo.or.jp/>
E-mail chiiki@akitakenshakyo.or.jp

CONTENTS

1. 北秋田市三木田地区の
住民主体の除雪活動・・・1~2
2. 美郷町で一斉除雪を実施・・・ 3
3. 若者の社会参加を考える
県民フォーラム開催・・・ 4

1. 北秋田市三木田（みつきた）地区の住民主体の除雪活動

～ 自主防災組織「三木田守り隊」の取り組み～

北秋田市社会福祉協議会あいかわ地域福祉センター所長 松橋恵子

北秋田市三木田（みつきた）自治会は、65世帯で185人が暮らしている。高齢化率は約52%と住民の半数以上を65歳以上の方が占めている集落である。三木田自治会では、近年続く豪雪に対応する目的で、平成22年に集落の体協・消防団・老人クラブ・自治会等の各種団体による「雪寄せ隊」が結成された。

雪寄せ隊の基本は、「理屈でもない、手助けでもない、ここに住む住民として、使命感として」である。

平成23年11月には、市の除雪事業を自治会で受託したことをきっかけに「三木田守り隊」の一環として除雪活動を行うこととなった。

「三木田守り隊」が行う除雪活動には、30分あたり700円の負担が必要となる。そのうち除雪をしてもらう対象者は600円を負担し、残り100円は自治会が負担している。そして、最終的には対象者の方には市から8割の助成が受けられる仕組みとなっている。



いざ出陣！

今年は、例年になく雪が多い秋田県であるが北秋田市合川地区も例外ではない。

三木田自治会では、1月20日(日)に「三木田守り隊」のほか地域住民も参加し、集落内の高齢者世帯や空き家、そして災害時の避難所に指定されている三木田集会施設の除雪を行った。

この日は、守り隊を中心に15名が参加、1メートル近く積った屋根の雪下ろしや、道路わきの雪の壁を除雪するために、スコップやスノーダンプを軽トラックに積み込み各屋々を回った。

「三木田守り隊」メンバーの三浦正基さんは、「どの地区でも高齢化が進んでいる。その世代交代は避けて通れない。我々の活動で“お互いさま”のタスキを次の世代に上手に渡していきたい」と話す。

また、「守り隊の活動を通して、地域住民の目線がそこに住む地域に少しずつではあるが向けられてきているようだ。雪がもたらしたアットホーム集落が我が自治会である」とも言う。

「三木田守り隊」では、除雪の他に、要援護世帯マップの作成や防災組織の結成のほか、北秋田市社協あいかわ地域福祉センターの福祉活動促進事業助成を活用し、住民の懇親を深めることを重点に、テーマを決め福祉施設の視察や勉強会なども開催している。

北秋田市社会福祉協議会としても、高齢化が進んだ集落が増えてきている中で、三木田自治会の取り組みを参考にしながら、地域のニーズを地域で解決できる住民参加による支え合いの仕組みづくりを支援していきたい。



集落を支える若い力

2. 美郷町で中高生や住民による一斉除雪を実施

秋田県社会福祉協議会地域福祉部主事 煙山翔平

美郷町社会福祉協議会では、1月24日（木）除雪作業が困難な高齢者世帯が安心して生活できるよう、美郷中学校、六郷高等学校、町内のボランティアや老人クラブなどの協力のもと、一斉除排雪活動事業を実施しました。

これまで六郷、千畑、仙南の地区ごとに除排雪活動を行ってきましたが、今年は中学校の統合に伴い初めて3地区一斉に行うことになりました。



六郷地区は25世帯に、六郷高校1年生97名、ボランティア51名の計148名が参加、千畑地区は30世帯に、美郷中学校1年生89名、ボランティア61名の計150名が参加、仙南地区は37世帯に、美郷中学校1年生103名、ボランティア82名の計185名が参加し、美郷町全体では総数92世帯に対し483名が参加し除雪活動を行いました。

まず3地区に分かれそれぞれ結団式を行い、作業内容や注意事項を説明したあとそれぞれの世帯に向かいました。

私は、六郷高校生3名とボランティア1名の計5名で活動先へ向かいました。活動先のお宅は2mほど雪が積もっており、玄関や出入口は雪のため狭くなっていました。スコップとスノーダンプを使い移動しやすいように除雪を行い、また、プロパンガスの周りも取り替えが楽にできるような状態にしました。雪を寄せる場所が少なく、車も通るため、高齢者の方が除雪作業をすることは大変だと感じました。

高齢者の方からは、「普段外出をすることがなく、体も弱く除雪が困難であったため、大変助かった」と感謝の言葉をいただきました。

一方高校生からは、「少しでも役に立つことができ、やりがいを感じる事ができた」と話していました。

一斉除排雪活動事業を通して、地域で暮らす高齢者の方々のために役立てることを感じる事ができたと思います。地域で支え合うことは大切なことです。普段の生活にもぜひ活かしてもらいたいと感じた今回の除雪活動でした。

3. 若者の社会参加を考える県民フォーラムを開催します

世界的な経済不況により、わが国でも雇用情勢が悪化している中で、生活保護受給者や低所得世帯の増加などが大きな課題となっています。

特に、若い世代を取り巻く雇用情勢は厳しさを増しており、若い世代の失業率の増加も顕著になってきております。

こうした状況を踏まえ、特に若い世代の社会参加や就労をいかに促進していくか、関係機関の連携により実現することを目的に県民フォーラムを開催いたします。

関係者および関心のある方の多数のお申込みをお待ちしております。

【主催】 社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会

【後援】 秋田県、秋田市、秋田労働局

【期日】 平成25年3月7日(木)

【会場】 「エリアなかいち」にぎわい交流館多目的ホール
〒010-0001 秋田市中通1-4-3 Tel 018-853-1133

【参加費】 無料

【内容】

受付 9:30～10:30

基調講演 10:30～12:00

「市民による伴走型就労支援について」～静岡方式から学ぶ～

津富 宏氏 (NPO 法人青少年就労支援ネットワーク代表、
静岡県立大学教授)

昼食・休憩 12:00～13:00

シンポジウム 13:00～15:30

テーマ「若者の就労や社会参加について考える」

【コーディネーター】水野淳一郎氏(長信田の森心療クリニック副院長、
NPO 法人長信田の森若者就労支援センター代表)

【アドバイザー】

津富 宏氏

【実践発表者】

- ・秋田市たんぼぼ代表 大森サツ子氏
- ・藤里町社会福祉協議会事務局長 菊池まゆみ氏
- ・サポートステーションあきた統括コーディネーター 大屋みはる氏
- ・NPO 法人あきた福祉共生会理事長 藤原芳子氏

【申込み・問合せ先】

秋田県社会福祉協議会地域福祉部 / 地域福祉・ボランティア振興担当：門脇
TEL 018-864-2714 FAX 018-864-2702